

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月8日

【評価実施概要】

事業所番号	0172900821		
法人名	特定非営利活動法人 広輪会		
事業所名	高齢者グループホーム はる		
所在地	北海道旭川市忠和6条5丁目1番21号 (電話) 0166-63-5766		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年12月5日	評価確定日	平成19年12月21日

【情報提供票より】(平成19年10月9日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)14年1月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤 6人, 非常勤 13人, 常勤換算10.08人	

(2) 建物概要

建物構造	木造モルタル 造り		
	2階建ての 1~2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月額)	9,000~13,500 円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(10月9日現在)

利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護1	9 名	要介護2	2 名
要介護3	4 名	要介護4	1 名
要介護5	2 名	要支援2	
年齢	平均 83.6 歳	最低 69 歳	最高 94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	むらい内科クリニック・尾崎内科小児科医院
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

法人理事長は、福祉の経験が豊富で職員の福利厚生に力を注ぎ毎年、海外・国内組に分かれて職員旅行に出かけ心身のリフレッシュで更なるケアサービスの質の向上に取り組み利用者・家族の信頼を得ています。建物は、以前使われていた学生寮を改築してグループホームとして利用されていますが、昨年はリフト付きバスの購入で利用者が日常的に外出の機会を多く作れるように努力され動物園や美瑛の丘などに出かけたり、本年は利用者の身体機能の低下に対応ができるようにエレベータが設置され毎年計画的に設備等の充実が図られています。共用空間は、利用者が気になる臭いや不快な音は感じられず清潔感が漂い家庭的雰囲気を感じられました。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、摂取カロリーについて専門職の助言についてとりあげられていましたが、具体的な水分・食事摂取量が記録され栄養バランスや摂取カロリーについても栄養士の指導・助言を受けられ取り組まれています。また、利用者の食欲も旺盛で嗜好も把握されています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 法人、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいます。また、外部評価の結果については、職員間で話し合われ改善の機会として取り組み、運営推進会議にも報告されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、評価日現在3回実施されその議題についてはグループホームの役割について(あるべき姿について)認知症について介護計画について一日の生活の流れについて(献立、行事等の紹介)次回開催の運営推進会議の要望や取り組みについて
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 「はる便り」を定期的に発行して利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子など家族に報告して、意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。また、来訪時には気軽に声を掛けられ意見や要望、不安なことが言いやすい雰囲気作りが心げたり、状態変化については都度電話連絡などで詳細に報告されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会に加入して恒例会への出席や地域の親睦団体に加盟して、町内のお祭りや鼓笛隊の見学、大掃除や清掃活動の参加を通じて地域の人達との交流が図られています。また、近隣への散歩や買い物、運営推進会議など日常生活を通じて地域との連携が行われ認知症に対する理解や広報に取り組まれています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で利用者がその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげ職員間で共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念の重要性を理解して共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入して恒例会への出席や地域の親睦団体に加盟して、町内のお祭りや鼓笛隊の見学、大掃除や清掃活動の参加を通じて地域の人達との交流が図られています。また、近隣への散歩や買い物、運営推進会議など日常生活を通じて地域との連携が行われ認知症に対する理解や広報に取り組まれています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	法人、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいます。また、外部評価の結果については、職員間で話し合わせ改善の機会として取り組まれ、運営推進会議にも報告されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在3回開催されている。メンバーは利用者、家族、民生委員、知見を有する看護師、法人理事長及び管理者・職員で構成されグループホームの役割や認知症についてなど具体的に取組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の保護課職員との連携や市主催の会議参加など連携を深めるように日々取り組んでいる。</p>		<p>今後は、市職員や包括支援センターとさらに協力が得られるように取組まむ計画がされています。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「はる便り」を定期的に発行して利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子など家族に報告しています。また、状態変化については都度電話連絡などで詳細に報告されています。金銭管理は、立替払いをして領収添付の上、報告されています。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>自己評価・外部評価の結果について家族に報告して意見を聞く機会を作ったり、来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取り組み気軽に意見や苦情・相談ができる環境に心掛け、それらを運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の福利厚生に手厚く、離職率は低い。また、法人・管理者は、職員の離職や異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>地域のケアマネージャーの会議での情報交換やグループホーム協議会などでの外部の研修参加を積極的に奨励している。申送りや全体会議、フロアー会議などで職場内研修が実施されたり、OJTの実施がされ職員を育てる取り組みがされている。</p>		<p>特筆すべき点として、毎年、職員の海外旅行・国内旅行が行われたり、親睦会が年数回行われ働く環境作りの体制整備に取り組まれている。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者や特別養護老人ホームなどの他施設との相互訪問や行事参加など交流が行われている。また、グループホーム協議会などの研修に積極的に参加され情報交換も行われている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、利用者の過去の大事な出来事や生活歴を把握して、散歩や買物、外食など外出の機会を作ったり、習字やおはじき、絵合わせゲームなど趣味への支援を行い、本人の気持ちになった支えあう関係を築いている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>法人所有のリフト付きバスで、ラベンダー見物や美瑛の丘、動物園、紅葉狩りにドライブに出かけたり、散歩や買い物など積極的に外出の機会を多く作ったり食事の準備、食の嗜好の把握など本人の希望や意向を尊重した取り組みが行われている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は、介護支援専門員の適切な監理のもとにセンター方式が採用され作成されている。また、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報やサービス担当者会議で職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、3ヶ月に一度計画的に見直しが行われています。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われています。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況に応じて通院の支援や要望のある場合には、散歩や買い物など柔軟に支援を行っている。また、馴染みの理美容院への訪問や出張サービスの利用など時々々の要望にも対応されています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	協力医療機関の看護師長や医師の往診、利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、医師と連携して利用者・家族とも段階的に相談しながら慎重に検討対応するよう統一された支援体制で取り組まれている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した声かけに取り組まれています。また、個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した配慮がされた取り組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースや思いを尊重して、ドライブや散歩、買い物や食事の準備・後片付け、茶碗洗いなど本人の希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が本人の希望や力量に応じて一緒になって楽しんで食事の準備をして、和やかな食事風景でした。また、食欲も旺盛で会話も弾んでいました。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は週2回に決めているが、利用者の希望に応じて対応している。また、週4回まで入浴が対応可能となっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの生活歴や力を活かして食事の準備や茶碗洗い、書道、歌唱、体操、日の出公園や美瑛の丘・紅葉狩りなどのへのドライブ、外食や買い物、散歩など気分転換のための外出の機会も多くつくりられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ドライブ、散歩、買い物など気分転換ができるように積極的に外出の機会を増やすように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	理事長及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。また、徘徊のある利用者に対応された取り組みが行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	看護師による救急救命の研修がフロアー会議などでOJTとして実施されている。また、火災避難訓練も定期的に行われている。		今後は、警察や消防署の協力を得ながら近隣の住民も参加した火災避難訓練を実施して、日頃より協力が得られる働きかけを行う計画がされています。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	具体的な水分・食事摂取量が記録され、栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握され支援されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者にとって不快な音や光がないように配慮され、一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保されている。また、利用者の身体機能の低下に対応していくためにエレベータも新たに設置され支援されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。また、利用者一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。